



2007年7月5日
 発行 相原まちづくり協議会
 責任者 理事長 杉崎太吉
 所在地 町田市相原町 798-1
 電話 042(774)8005

9月に横浜線開通・相原駅開業100周年

イベントを開催します

明治38年9月22日に横浜線が開通して今年で100年になります。開通時の駅は八王子、相原、橋本、淵野辺、原町田、菊名、東神奈川など8駅だけでした。

通・相原駅開業100周年イベントを計画しています。過去100年を振り返り、これからの100年を考えるイベントにする予定です。イベント内容が具体化したら、お知らせしますのでご協力をお願いします。

このため、今年9月後半に相原駅周辺で横浜線開通
横浜線や相原駅の昔の写真を借用募集しています

横浜線開通・相原駅開業100周年イベントでは写真展示会を計画しています。そこに展示する写真を募集しています。横浜線や相原駅の昔の写真を持っている方は、貸して下さるようお願いいたします。下記までご連絡下さるよう、お願いします。

また相原まちづくり協議会では美しい相原の夕焼けの写真を集めていますのでお持ちの方はご連絡ください 杉崎理事長まで
 電話042-774-8005

相原中央公園が完成しました

相原中央公園が完成して竣工式が4月12日に公園内で盛大に行われました。地元の長年にわたる公園設置運動の結果、実現したものです。みなさんの公園として、大事に活用して下さい。

場として利用されてきました。その間に総合公園として整備して欲しいとの地元要望の声が高まり、1986年に「相原中央公園建設促進委員会」が発足しました。1988年に総合公園(11.5%)として都市計画決定しました。その後、許可期間の延伸、面積変更(15.7%)を経て、2003年度より整備工事を開始、5年間かけて2008年3月に完成しました。総工事費は58億円です。

竣工式には石坂丈一市長のあいさつ、井上正行市議会議長、北島一夫相原中央公園建設促進委員会会長、石井悟相原地区連合町内会長の来賓のあいさつのもと、テープカットが、利用者の子も代表も加わり、行われました。また、当日は相原中央スポーツ広場運営委員会に所属しているサッカー、テニスなど各運動クラブの公開練習も行われました。

主な施設は3つの多目的広場、テニス壁打ち、テニスコート、管理棟、作業棟、四季の丘、芝生広場、さくらの丘、散策路、炭焼き窯などです。

同公園は1976年に相原小学校の第2グラウンドとして一部利用から始まり、その後利用区域が広がり、「相原中央スポーツ広場」として地元運営委員会により、サッカー、テニス、ゲートボール

なお、公園の管理については、市の指定管理団体としてNPO「レシュポアール相原」を設立することになり、現在、その設立準備を進めています。



平成 20 年度相原町会長名

連合町内会会長	中村会長	横溝 廣喜
連合町内会長代行	武蔵岡会長	平山 富士雄
連合町内副会長会計	中相原会長	吉野 蔵弘
連合町内副会長会計	境会長	金子 保之
連合町内副会長監査	丸山会長	石井 悟
連合町内副会長監査	坂下会長	進藤 澄雄
連合町内副会長庶務	丸山団地会長	立脇 弘史
連合町内副会長庶務	陽田会長	阿部 三喜男
連合町内副会長庶務	元橋会長	喜納 淳
連合町内副会長庶務	仲町会長	芹沢 延高
連合町内副会長庶務	大戸会長	田中 記一

夏祭りスケジュール

7月	日 (日)	丸山 仲町
7月	日 (金土)	武蔵岡
7月	日 (土)	中村
7月	日 (金土)	大戸
7月	日 (土)	坂下 陽田 丸山団地
8月	日 (土)	堺 元橋
8月	日 (土)	中相原

その他の行事

		境市民センター祭り
8月	日 (日)	諏訪神社礼大祭
8月	日 (土)	大地沢センター祭り
8月	日 (日)	町田市防災 横浜線 100 周年記念
10月	日 (日)	相原フェスタ
11月	日 (日)	ソフトボール大会

相原まちづくり協議会

総会で活動方針決定

相原まちづくり協議会は4月27日に丸山公会堂で平成19年度定期総会を開きました。総会は理事・監査のほか、各町内会・自治会から2名の代議員が参加しました。来賓として都議会、市議会の各議員、連合町内会、保全会などの代表者が出席しました。

総会は杉崎太吉理事長から「相原町の人口が減少しています。平成13年と20年を比較すると小山地区は2414人増えているのに、相原地区は415名減少です。

研修旅行に千葉県香取市佐原へ

まちづくり協議会は3月2日に千葉県香取市佐原などに研修旅行をしました。香取市佐原は江戸時代に利根川の水運で繁栄し、中心を流れる小野川沿いには土蔵造りの商家の建物が今も当時の面影を残して国の重要伝達の建造物群保存地区に選定され、古い歴史がそのまま保存されています。また、伊能忠敬記念館、「房総の村」なども視察しました。

特に29歳以下の若者が1192人減少して顕著です。活気のある街づくりのために、今年は討議の時だけでなく、行動する時期と考えています」とあいさつ。19年度活動報告、19年度収支決算報告、20年度活動方針・計画、20年度予算が原案通り決定しました。

特に今年度の活動方針・計画の中で「相原まちづくり中長期構想」が了承されました。みなさんとともに相原町を活気あるものにするための構想です。詳細はこの「あいとぴあ」の2、5面にあります。



中村に待望の公園が完成しました

中村地区に3月30日に待望の「相原中村なかよし公園」がオープンしました。

公園の面積は1155㎡(350坪)で、エントランス広場と多目的広場からなっています。遊具はカバ型のトンネル、シカ型のスプリング遊具などがあります。水飲み場、照明灯2基など設備されています。場所は八千代銀行の北側に位置しています。

とても広いので子どもだけでなく、高齢者の方も散歩の休憩場として、また軽い運動場として利用できます。



相原地区市政懇談会を開催

住民とホタルの保護を促進

石坂丈一町田市長ら市幹部との相原地区市政懇談会が2月12日、堺市民センターで開かれました。この中で石坂市長は「相原町ほど自然環境に恵まれたところは、市内にはありません。中央公園も完成して、子どもセンターも着工し、遅れ気味のものを回復して、平均的なところまで漕ぎ着けました。駅前広場、道路ができれば街の形ができてきます」とあいさつしました。市側の主な回答は以下の通りです。

<相原駅西口前の広場・道路について>

西口広場と都市計画道路2本があり、現在、用地買収中だが、あと数軒で完了します。用地買収が完了すると下水道工事に着手します。駅前広場は、あまり広くないので、まずバスの進入、タクシー乗り場の公共スペースの確保が先決です。歩道もある程度、確保します。植栽スペースについては、警視庁と交通協議している最中。植栽や街路樹の樹種選定についても、皆さんと話し合っていきたい。

<相原中央公園までの道路拡張について、歩道の仕切り、または白線で対応して欲しい>

町田街道から五叉路までの道路が6mあるので、20年度に幅1mで両側に白線で設置します。また五叉路から中央公園に向かう道路拡幅は6mの車道と2mの片側歩道、つまり8mの道路を平成22年までに完成させます。これが出来ると中央公園入口まで歩道付き道路が完成します。

<中央公園の周辺整備について>

湿性植物を増やすと云うことで、池の整備が終わり、その後、水中動植物が自然に生えてくるので、その状況を見て、植栽計画を作成することにしています。

相原中央公園から梅ノ木沢までの遊歩道は、現

在、相原緑地内に遊歩道を作っただけでいる方がいるので、そういう方と一緒に遊歩道を確保していきたい。

ホタルの養成地としての自然環境確保ですが、陽田川にもホタルがいます。相原緑地は平成19年12月の都市計画決定された区域内ですが、ホタルがいます。みなさんと一緒にホタル保護を考えていきたい。

<下水道工事の進捗状況>

相原地区の下水道事業は町田街道内の下水幹線を先行した形ですすめています。目標年度平成25年までに大戸地区までに幹線、枝線とも整備完了させる計画です。町田街道幹線工事は交通事情を考慮して地下で作業を行っています。19年度中は大戸踏切西側の八千代銀行相原支店までを完成。最下流から19年度内に完成させようと努力しましたが、相原三叉路交差点、16号に出るところが、非常に軟弱な地盤で、想定したよりも地下水が多く、地上1・5mくらいのところから水が湧いて、縦杭の倒壊する危険にさらされました。この関係で全体的に終わるのが20年9月頃になります。横断部分が出来ても、下流が出来ていないので、下に流せません。幹線工事が終わると、各家庭に繋げていく面整備になります。あくまでも下流側から上流に向けて進んでいくことが原則です。該当地区については、町内自治会を通して説明させていただきます。

<大戸小学校、武蔵岡中学校の児童、生徒の減少による市の対応について>

大戸小、武蔵岡中は小中一貫校を作る研究指定校に入っています。20年度は、この実践を踏まえて大戸小、武蔵岡中の小中一貫校のあり方を検討するため、地域の方を含めて、検討組織を計画しています。

相原子どもセンターが着工しています

町田市内で3番目となる(仮称)相原子どもセンターの着工式が1月31日に石坂丈一町田市長や多くの関係者を集め相原中央公園管理棟で行われました。

建設場所は、相原中央公園の近くの相原町2025番2、敷地面積2202.7㎡で建物は鉄筋コンクリート造り2階建て(延床面積約1180㎡)。開館は、来年の春休みを予定されています。

主な施設は、駐車場16台、駐輪場35台、1階にプレイルーム、創作アトリエ、乳幼児室、スタジオ、多目的スペース、ホールなど。2階は、学童保育室、図書室、学習室など。他にテラスから庭に降りられるすべり台も設置される。利用できるのは、0歳から18歳まで。工事は、基礎工事が終わり、現在、鉄筋工事が行われています。



大戸源流森の会より

拠点となる作業小屋の建設が始まりました。プロの大工はいませんが、会員みんなで力をあわせ立派な骨組みができました。夏までにはほぼ完成します。冷房が無い環境ですから竹林の風通しの良い場所を選びました。建設の材料費は、一昨年ライオンズクラブから活動への支援で寄付された助成金でまかっています。この拠点を中心に成果ある活動をめざします。



「花の町相原」推進活動計画のお知らせ

- 1、相原中央公園植栽計画に協力し、紫陽花の挿し木活動
- 2、町のイベントに参加協力(堺市民センター祭り・相原駅・横浜線開業 100 周年 etc)
- 3、花いっぱい運動の推進
花壇の運営管理(相原駅西口・堺市民センター前・町田街道諏訪神社信号下・境三叉路)
花の苗づくり
「寄せ植え等園芸講習会」の実施
家庭の花壇作りの推進
- 4、研修の実施 季節の花日帰り見学旅行・地域の花見学散策

奮ってご参加下さい。花の町相原推進委員会
委員長 小池 博満 TEL 7 7 1 - 3 6 2 7



「花の町相原推進委員会」の発足の経緯

平成 13 年度に相原町連合町内会にて、町おこしの一環で、相原の町を花でいっぱいにし、“すみだい町” “行って見たい町” にしようと考えられました。その具体的実施機関が「花の町相原」です。連合町内会ほか諸団体の協力と支持のもとに、地道な活動を継続し今年で 7 年目になります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします

相原の文化財・文化施設シリーズ 蚕種石(こだねいし)

坂下の口テングーデンの付近は小字名を蚕種石(こだねいし)といいます。これは相原一帯、養蚕業が盛んだった江戸・明治・大正期に蚕の形に似た石を「蚕種石」と称し信仰の対象とした名残です。(相原では祭事も行われたようです)今もこの蚕種石は相原に保存されています。長さは 1.2m ぐらい直径は 48cm ~ 55cm ぐらいで繭の形をしています。この石が八十八夜前後になると緑色に変化します。(これは石に付いた苔が色づく為)昔の養蚕農家はこの色で掃立の時期を決めたそうです。(掃立とは孵化した蚕を蚕棚に移すこと)「絹の道」「蚕種石」昔の相原近辺は絹とは切っても切れない関係があったのではないのでしょうか。そういえば今年で 100 年目となる横浜線も横浜港まで絹を運ぶ重要な輸送手段として誕生しています。

